



Hewlett Packard
Enterprise

HPE OneView 5.3 リリースノート

摘要

本書では、HPE OneView 5.3 の新機能と既知の制限事項について説明します。このリリースは、HPE OneView の仮想アプライアンスを使用して HPE ProLiant サーバー、HPE Virtual Connect、およびストレージシステムの構成、管理、およびトラブルシューティングを行う管理者を対象としています。

ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外の情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

商標

Intel[®]、インテル、Itanium[®]、Optane[™]、Pentium[®]、Xeon[®]、Intel Inside[®]および Intel Inside ロゴは、インテルコーポレーションまたはその子会社のアメリカ合衆国およびその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft[®]および Windows[®]は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

Adobe[®]および Acrobat[®]は、米国 Adobe Systems Incorporated の登録商標です。

Java[®]および Oracle[®]は、Oracle および/またはその関連会社の登録商標です。

UNIX[®]は、The Open Group の登録商標です。

すべてのサードパーティのマークは、それぞれの所有者に帰属します。



目次

リリース情報.....	4
HPE OneView のカスタマーエクスペリエンスの主な特長の説明.....	5
解決済みの問題.....	8
アプライアンスのインストールとアップデート時間.....	10
アップデート後のアプライアンスのバックアップ.....	10
問題と推奨処置.....	11
注記.....	17
HPE OneView のドキュメントおよびトラブルシューティングの資料	
.....	19
HPE OneView ユーザーガイド.....	19
HPE OneView サポートマトリックス.....	19
HPE OneView のトラブルシューティングガイド.....	19
HPE OneView ヘルプと HPE OneView API リファレンス.....	19
Web サイト.....	20
HPE OneView Remote Technician.....	22
サポートと他のリソース.....	23
Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス.....	23
アップデートへのアクセス.....	23
リモートサポート（HPE 通報サービス）.....	24
保証情報.....	24
規定に関する情報.....	24
ドキュメントに関するご意見、ご指摘.....	25

リリース情報

本文書では、HPE OneView 5.3 のリリース情報を提供します。

対象読者	関連情報
すべてのユーザー	<ul style="list-style-type: none">・ HPE OneView のカスタマーエクスペリエンスの主な特長の説明・ 解決済みの問題・ サポートと他のリソース
新しいアプライアンスをインストールするか、以前の HPE OneView バージョンからアップデートするユーザー。	<ul style="list-style-type: none">・ アプライアンスのインストールとアップデート時間・ 問題と推奨処置

HPE OneView の詳細については、[Hewlett Packard Enterprise Information Library](#) を参照してください。

HPE OneView の以前のバージョンやアップグレードパスについて詳しくは、[HPE OneView ライフサイクルページ](#)を参照してください。

❗ **重要:** この製品には、リリースされていない製品または機能への参照が含まれる場合があります。Hewlett Packard Enterprise は、そのような製品または機能を商業的にリリースまたはサポートしない権利を留保します。



HPE OneView のカスタマーエクスペリエンスの主な特長の説明

I. アプライアンスのアップデートのエクスペリエンス

・ アップデートの信頼性の向上

HPE OneView 5.3 にアップデートすると、アップデートの信頼性が向上します。HPE OneView 5.3 にアップデートする前に HPE OneView Update Readiness Checker を実行すると、アップデートに失敗するリスクを軽減できます。さらに、HPE は、アップデート中の起動操作を最小限に抑え、アップデートの失敗を引き起こす可能性のある潜在的な問題を検出して防止するためのテスト作業を自動化することにより、アップデートの信頼性を強化しました。

・ HPE OneView Update Readiness Checker に追加された新しいチェック

アプライアンスを HPE OneView 5.3 にアップデートする準備ができていることを確認するには、最新バージョンの HPE OneView Update Readiness Checker を使用してください。HPE OneView Update Readiness Checker は、正常なアップデートに悪影響を与える可能性のある既知の条件がないか確認して HPE OneView アプライアンスの正常性を評価し、問題が見つかった場合は、修正手順を提示します。チェックする新しい項目は、定期的に HPE OneView Update Readiness Checker に追加され、最新バージョンは <https://www.hpe.com/support/ov-urc> でオンラインで入手できます。HPE OneView 5.3 GUI には新たに、最新の HPE OneView Update Readiness Checker を取得するための直接リンクが追加されています。

・ 詳細進捗インジケータ

HPE OneView 5.2 から HPE OneView 5.3 にアップデートする際は、詳細進捗インジケータが表示されます。詳細進捗インジケータには、完了した割合 (%) を示す進捗ステータスバー、アップデート中のタスクに関する詳細、そのタスクの推定時間、タスクの開始時刻が表示されます。HPE OneView 5.0 から HPE OneView 5.3 へのアップデートでは、完了した割合 (%) を示す進捗ステータスバーのみが表示されます。

II. ファームウェアアップデートのエクスペリエンス

FW アップデートの堅牢性、トラブルシューティング、および回復可能性の向上

ファームウェアインストールの信頼性に関する取り組みを継続する中で、HPE OneView 5.3 は新しいファームウェアインストール失敗検知アルゴリズムを実装し、ファームウェアインストールの再試行を検知、回復、再開することにより、Gen10 オンラインファームウェアアップデートの堅牢性を向上させました。

III. サポートのエクスペリエンス

・ OneView Analytics with InfoSight - 公開技術プレビュー

HPE OneView 5.3 は、お客様向けに公開技術プレビューを提供します。この公開技術プレビューは、アプライアンスレベルのデータを収集し、HPE が所有するバックエンドデータレイクに格納し、情報をマイニングするための俊敏な常時接続サービスを提供する当社の能力の強化につながります。これは、カスタマーアドバイザリとセキュリティ報告書に該当する関連インフラストラクチャの特定に限定されます。

・ メンテナンスモード - MM 終了アラートと SNMP アラートの抑制の強化

メンテナンスモードは、HPE OneView 5.2 で初めて導入されたもので、アラート通知メールを抑制します。今回のリリースでは、SNMP アラートも抑制され、自動的にクリアされなかった既存の警告やクリティカルアラートがあった場合に新しい終了アラートが生成されます。このアラートには、注意

が必要な具体的なアラートを管理者が確認できるリンクが含まれます。サーバーリソースがメンテナンスモードのときに OneView Remote Support イベントが発生しても、このイベントは失われ、外部には受信されません。HPE データセンターへのデータ収集は、メンテナンスモード中は抑制されます。メンテナンスモードが終了すると、データセンターへのデータ収集が新たに開始され、メンテナンスモード中のシステムの変更が確実にキャプチャーされます。

- ・ **GUI 内にピン留めする HPE OneView メインメニューオプション**

HPE OneView グラフィカルユーザーインターフェイス (GUI) で、メインメニューをメイン画面にピン留めしたり、ピン留めを解除したりできるようになりました。メインメニューをピン留めすると、タスクを実行している間も GUI にメインメニューが表示されたままになります。メインメニューのピン留めを解除すると、インターフェイス内で作業しているときはメインメニューは表示されず、インターフェイスのドロップダウンアイコンをクリックしたときのみ表示されます。

- ・ **ロックされたアラートをお客様がクリアできる**

CSC とお客様の両方から、自動的にクリアされるべきだったがクリアされなかったライフサイクルアラートをクリアできるようにしてほしいというご要望がありました。これにより、管理者は物理的な状況を修正したら、ロックされたアラートをクリアできるようになり、データベースからアラートをクリアするために L2 エンジニアの支援を要求するサポートケースを開く必要がなくなりました。

- ・ **アラートでエラーコードを報告**

CSC から、アラート/イベントまたはタスクに起因するエラーメッセージに固有のエラーコードを含めてほしいというご要望がありました。これにより、OneView のどのソースコードが問題の原因となっている可能性があるかを特定して、お客様の問題とエスカレーションへのサービス提供を向上させることができます。また、研究開発チームがその原因となるさまざまなコードパスの診断トレースを改善できます。

IV. リモートサポート

- ・ **HPE データセンターとのサーバーの接続性のリモートサポートテスト**

新しいテスト機能により、HPE データセンターへのシステムの接続性を検証できるようになりました。iLO4 および iLO5 ベースの ProLiant サーバーで、OneView Remote Support ページから、テストイベントを HPE データセンターに送信して接続性を確認することができます。テストイベントによって、エンドツーエンドの接続性を確認するためのケースが生成されます。これにより、システムの後続のサービスイベントによってサポートケースが確実に生成されます。新しいテスト機能は、ProLiant サーバー以外の他のシステムタイプにも適用できるように今後のリリースで引き続き拡張されますが、OneView Remote Support UI から開始されたこれらのテストイベントによってのみ、サポートが維持されます。

- ・ **Superdome Flex IPv6 の OneView Remote Support**

OneView Remote Support は、IPv6 を使用した Superdome Flex のサポートにより、IPv6 ネットワーク構成のシステムのサポートを拡大し続けています。Superdome Flex による IPv6 のサポートは、ファームウェアバージョン 3.2 以降に適用されます。

V. セキュリティのエクスペリエンス

マルチホームドアプライアンス

仮想アプライアンスには、管理ネットワーク (サーバー、管理対象ノード) とユーザーネットワーク (ユーザー) を分離できるように、OneView アプライアンスに追加のネットワークインターフェイスを構成するための API 限定オプションがあります。追加のネットワークインターフェイスを構成すると、管理対象機器へのネットワーク接続を許可しないで HPE OneView にアクセスできます。このセットアップでは、2 番目のネットワークインターフェイスに接続されている HPE OneView クライアントと HPE OneView アプライアンスの間にルーターがある場合、静的ルートが必要になる場合があります。静的ルートは、ネッ

トワークインターフェイスごとに追加できます。HPE OneView の 2 番目の NIC の構成と静的ルートの構成はいずれも、REST API を介してのみサポートされます。

VI. インフラストラクチャのプロビジョニング管理エクスペリエンス

・ サーバープロファイルの高速移動

物理リソースを移動するお客様は、この機能を使用することで、サーバープロファイルの再適用にかかる全体的な時間が大幅に短縮されます。プロファイルがエラーなしで正常に適用された場合、管理者はサーバーの電源をオフにして、同じ OneView アプライアンスによって管理されている同じまたは異なるエンクロージャー/フレーム内の別の場所に物理的にサーバーを移動し、プロファイルを再度割り当てることができます。プロファイルの完全な適用は実行されないため、プロファイルの割り当てと適用が迅速に行われ、管理者はサービスを短時間でリストアできます。

・ iLO5/4 サーバー用の HTML5 iLO コンソールの利用開始

HPE OneView 5.3 で HTML5 iLO コンソールがサポートされたため、iLO コンソールにアクセスするために Java ソフトウェアをインストールする必要がなくなりました。iLO バージョン最小要件を満たすすべての HPE ProLiant Gen8 以降のサーバーでサポートされています。

・ Nimble - 5.1 混合プロトコルアレイサポート (FC+iSCSI ポート)

HPE OneView 5.3 で、Nimble 5.1 混合プロトコルストレージ機能がサポートされました。具体的には OneView で、単一のストレージアレイ上の FC ポートと iSCSI ポートをどちらも使用する Nimble 5.1 マルチプロトコルがサポートされました。お客様は、ボリュームの使用率に基づいて、ユースケースに最適なプロトコルを使用できます。両方のプロトコルを同時に使用してストレージにアクセスするようにサーバーを構成できます。さらに、両方のプロトコルを同時に使用してストレージにサービスを提供するようにストレージシステムを構成できます。

解決済みの問題

このセクションでは、HPE OneView 5.3 で解決された問題を説明します。

- ・ 3.1 より後のファームウェアバージョンをアップグレードした後に、HPE Virtual Connect 8Gb 24 ポートファイバーチャネルモジュールが非管理状態に移行するという問題が解決されました。
- ・ 工場出荷時設定へのリセットオプションを使用して高セキュリティモードで iLO サーバーを構成した後に、iLO サーバーが検出されない場合に発生するエラーのエラーメッセージが改善されました。エラーメッセージで問題を説明し、対応策を提案しています。
詳しくは、[カスタマーアドバイザー](#)を参照してください。
- ・ 短時間で内部タスクを作成すると HPE OneView の応答性が低下するという問題が解決されました。
- ・ HPE OneView を 5.00.02 バージョンにアップグレードした後、OS 展開サーバーが**未接続**状態と表示されるという問題が解決されました。
- ・ 完了した割合 (%) の計算タスクの結果がアプライアンスで定義された範囲を超えた場合にエラーが表示されるという問題が解決されました。エラーは、終了状態以外の古いタスクでのみ発生します。
- ・ 非管理対象ポートが、管理対象ストレージシステム（予期されたネットワークまたは SAN のないポート）から削除されると、ストレージシステムとそれに関連付けられたプールおよびボリュームとの間のリンクを UI で追跡できなくなるという問題が解決されました。
- ・ HPE OneView から HPE OneView Update Readiness Checker をアップロードしているときに、最初のクリック後に**アップデート**ボタンが無効になるという問題を解決しました。
詳しくは、[カスタマーアドバイザー](#)を参照してください。
- ・ アプライアンスからインターネットにクエリを実行しているときに、HPE OneView が内部 DNS（ドメインネームシステム）サーバーではなく外部 DNS サーバーから情報を取得しようとするという問題が解決されました。問題を説明するエラーメッセージのガイダンスが改善されました。
- ・ あるシステムで HPE OneView バックアップを取得中にアラートが生成された場合、アプライアンスを別のシステムでリストアした後も、そのアラートがクリアされないという問題が解決されました。
- ・ 監視対象モードの論理エンクロージャー内のインターコネクトモジュールでファームウェアをアップデートした後も、HPE OneView に低いファームウェアバージョンが表示されるという問題が解決されました。
- ・ ファームウェアをベースラインにアップデートした後も、サーバープロファイルにベースライン不整合の警告メッセージが表示されるという問題が解決されました。
- ・ 予約された範囲の IP アドレスでサーバーを構成して発生したエラーのエラーメッセージが改善されました。
- ・ Virtual Connect (VC) ファームウェア 4.75 以降を搭載した HPE OneView で、論理エンクロージャーページの Virtual Connect Manager (VCM) リンクから HTTPS VCM URL にリダイレクトされないという問題が解決されました。
- ・ LIG の作成中に HPE OneView によってすべての入力フィールドが検証されないため、論理インターコネクトグループ (LIG) のアップリンクセットからネットワークを作成または削除できないという問題が解決されました。
- ・ 論理インターコネクト (LI) と Logical Just Bunch Of Disks (LJBOD) の両方からドライブエンクロージャーを削除した後、ドライブエンクロージャーが見つからないというエラーメッセージが生成される問題が解決されました。
- ・ ラックマウントサーバーのシステムボードを交換して以前のシリアル番号またはアプライアンス ID および UUID を変更した後に発生するエラーのエラーメッセージが改善されました。

- ・ HPE OneView 3.1 以前のバージョンからは 5.2 にアップグレードできないという問題が解決されました。
- ・ サーバープロファイルテンプレート（SPT）の添付ファイルの上限を示すようにエラーメッセージが改善されました。サーバープロファイルの添付ファイルが 100 を超える場合は、SPT をアップデートできません。
- ・ HPE OneView 経由でカスタム SPP を作成しても、ファームウェアホットフィックスをアップデートできないという問題が解決されました。
- ・ ローカルストレージ構成で論理ドライブを定義した後、コントローラーに重複した論理ドライブをインポートしても、HPE OneView でエラーメッセージが生成されないという問題が解決されました。
- ・ ファームウェアアップデートが 3 日以上スケジュールされている場合と、状態が変化した場合、サーバープロファイルのタイムスタンプが現在の時刻にアップデートされないという問題が解決されました。
- ・ HPE OneView のインベントリリストに HPE Superdome Flex サーバーの未接続の電源装置ユニットが表示されるという問題が解決されました。
- ・ 電源装置ユニットが HPE Superdome Flex サーバーから取り外されたときに起きる冗長性の損失（またはリソースの警告）に対して、HPE OneView でアラートメッセージが生成されないという問題が解決されました。
- ・ HPE OneView のインベントリリストに HPE Superdome Flex サーバーの電源装置のヘルス状態が表示されるのに時間がかかるという問題が解決されました。
- ・ HPE で HPE Superdome Flex サーバーのラック管理コントローラー（RMC）ヘルスアラートが報告されないという問題が解決されました。
- ・ Service Pack for ProLiant（SPP）の一部のコンポーネントではインストールの前に再起動が必要なため、SPP ファームウェアのインストールに失敗するという問題が解決されました。
- ・ SPP を再度追加しないですべての SPP を自動的に除去して再検出することで HPE OneView と SUM as a Service（SAAS）の耐障害性が向上しました。
- ・ UI または REST API のいずれかを使用して HPE OneView で HTTP プロキシアドレスを構成した後、アプライアンスからプロキシアドレスを削除できなくなるという問題が解決されました。
- ・ ログファイルがファイルサイズの上限に達した後に、ログローテーションプロセスに失敗すると、HPE OneView 5.0 以降のバージョンは動作を停止するという問題が解決されました。



アプライアンスのインストールとアップデート時間

インストールファイルまたはアップデートイメージをダウンロードするには、ソフトウェアセンター (<https://www.hpe.com/software/hpesoftwarecenter>) にアクセスしてください。

このアップデートには、1 回以上のアプライアンスの再起動が必要です。再起動を含むアップデートの完了に必要な時間は約 1 時間です。

インストール手順の詳細については、[HPE OneView インストールガイド](#)を参照してください。

重要なアップグレードの注意

- ・ アップデートする前に、アプライアンスに 8 つの仮想 CPU と 24 GB のメモリがあることを確認してください。
- ・ アプライアンスに元々 HPE OneView バージョン 1.1 以前がインストールされていた場合、仮想ディスクのサイズを 160 GB から 275 GB に変更する必要があります。
- ・ HPE OneView をアップデートする前に、HPE OneView Update Readiness Checker の最新バージョンをダウンロード、インストール、および実行して、HPE OneView の正常性を評価します。このチェッカーをダウンロードするには、<https://www.hpe.com/support/ov-urc> にアクセスしてください。

詳しくは、[HPE OneView ユーザーガイド](#)と、ダウンロードに含まれる README ファイルを参照してください。

アップデート後のアプライアンスのバックアップ

アプライアンスをアップデートした後に、バックアップファイルを作成してダウンロードします。

アプライアンスのファームウェアバージョンの書式は次のとおりです。

majornumber.minornumber.revisionnumber-buildnumber

バックアップファイルからリストアする場合、アプライアンスのファームウェアバージョンのメジャー番号とマイナー番号は、バックアップが作成されたときのものと同じである必要があります。リビジョン番号とビルド番号は一致しなくても構いません。

バックアップを実行する方法の詳細については、[HPE OneView ユーザーガイド](#)を参照してください。



問題と推奨処置

HPE OneView Remote Support を有効または無効にする操作中にアプライアンスを再起動すると、HPE OneView がタスクを中断する

問題：

HPE OneView Remote Support を有効または無効にする操作中に HPE OneView を再起動すると、タスクが中断されます。そのため、HPE OneView Remote Support は有効または無効になりません。

推奨処置：

1. HPE OneView を手動で更新します。
2. 次のいずれかを実行します。
 - ・ HPE OneView Remote Support を有効にする場合は、いったん無効にして、プロセスが完了するまで待ってから、再度有効にします。
 - ・ HPE OneView Remote Support を無効にする場合は、いったん有効にして、プロセスが完了するまで待ってから、再度無効にします。

iLO 4 または iLO 5 サーバー用に生成されたテストイベントで、テストイベントのメール通知が生成される

問題：

iLO 4 または iLO 5 サーバーのテストイベントを作成すると、HPE OneView によってそのテストイベントに対するメール通知が生成されます。

推奨処置：

推奨されるアクションはありません。

すべての論理エンクロージャーがインポートされた後に、サーバーハードウェアでリモートサポート登録に失敗する

問題：

HPE OneView で、HPE Remote Support を有効にしているときにデバイスを追加すると、すべてのリソースがインポートされた後に、リモートサポート登録に失敗します。

推奨処置：

リモートサポートに登録されていないデバイスを手動で更新します。

ファームウェアのアップグレード中にサーバープロファイルからサーバーを削除または再追加できない

問題：

サーバープロファイルで、ファームウェアのアップデート中にサーバーを削除または再追加すると、HPE OneView に次のエラーメッセージが表示されます。

デバイスベイ#の変更処理中に、予期しない問題が発生しました。

推奨処置：

ファームウェアアップデートが完了するまでお待ちください。ファームウェアをアップデートした後に、サーバープロファイルからサーバーを削除または再追加します。また、ファームウェアアップデートの進行中は、サーバーの電源を切らないでください。

詳しくは、サポートスペシャリストにお問い合わせください。

データベースで使用できるにもかかわらず、ストレージシステムのインデックス関連付けが見つからない

問題：

管理対象ストレージシステムの非管理対象ポートが削除されると、HPE OneView はストレージシステムとそれに関連するプールおよびボリュームの間にリンクを描画できません。ただし、REST 情報への影響はありません。

推奨処置：

HPE OneView を再起動します。

未割り当てのサーバープロファイルを再割り当てするときに、サーバープロファイルへの変更がサーバーに適用されない場合がある

問題：

サーバープロファイルを同じサーバーハードウェアに再割り当てするとき、サーバーハードウェアに以前に割り当てられていた未割り当てのサーバープロファイルは、アップデートされたプロファイル設定を適用できません。特に、サーバープロファイルのファームウェア、BIOS、またはローカルストレージへのアップデートは、サーバーハードウェアに適用されない場合があります。

推奨処置：

以下のいずれかの操作を実行してください。

- ・ サーバーにプロファイルを割り当てるときに、ファームウェア、BIOS、ローカルストレージの設定を編集します。
- ・ プロファイルを割り当てた後、必要に応じて個々の設定を選択して、サーバープロファイルを再適用します。

Internet Explorer のコンテキスト依存ヘルプの制限

問題：

HPE OneView のコンテキスト依存ヘルプに、Internet Explorer のバナーと検索オプションが表示されません。

推奨処置：

この制限を回避するには、Google Chrome を使用します。

カスタマイズされた帯域幅構成が論理インターコネクト GUI に表示されない

問題：

HPE OneView 論理インターコネクト GUI は、インターコネクトが次のデフォルト帯域幅を持つ 24 個すべてのダウンリンクポートで構成されている場合、カスタマイズされた帯域幅構成を表示しません。

最小帯域幅構成 = 50% および最大帯域幅 = 100%。

推奨処置：

推奨されるアクションはありません。

ブラウザーに HPE OneView インターフェイスが表示されない

問題：

ブラウザーのキャッシュがいっぱいであるため、ブラウザーに HPE OneView インターフェイスが表示されません。

推奨処置：



- ・ ブラウザーのキャッシュをクリアして、再試行します。
- ・ ブラウザーを更新するか、再ロードします。

HPE OneView でサーバープロファイルを正常に削除できない

問題：

HPE OneView で、複数のプロファイルの削除が同時に試行された場合、または HPE OneView アプライアンスの負荷が高い場合、サーバープロファイルを削除できないことがあります。

推奨処置：

サーバープロファイルを削除するアクションを再度実行してください。

注記: 削除アクションを完了できるまで、複数回実行する必要がある可能性があります。

HPE iLO の Active Health System が、HPE OneView によって管理されるサーバーハードウェアの変更を記録できない

問題：

Remote Support を使用すると、通常スケジュールされている AHS ログの収集が完了せず、次のメッセージが表示される場合があります。

操作は予定よりも時間がかかっています。

推奨処置：

iLO Active Health の収集を手動で再実行します。

HPE OneView の接続のコンプライアンス確認が正しくない

問題：

サーバープロファイルをサーバープロファイルテンプレートと一致させる自動修正が失敗し、サーバープロファイルでポート設定が変更されたときにコンプライアンスの問題が発生します。

推奨処置：

プロファイルのポート設定を手動でアップデートして、テンプレートに一致させます。

HPE OneView および iLO が CNSA モードである

問題：

管理対象サーバーの iLO が Commercial National Security Algorithm (CNSA) モード、またはスイート B モードの場合、HPE OneView コンソールから iLO UI またはコンソールにアクセスできません。

推奨処置：

推奨されるアクションはありません。

英語以外のディレクトリサーバーのグループ名が一部のブラウザで表示されない

問題：

ディレクトリサーバーが、中国語や日本語など英語以外のグループ名で構成されていて、Microsoft Internet Explorer 11、Firefox 57 以降、または Chrome 64 以降のバージョンのブラウザを使用している場合、中国語または日本語のグループ名を選択した後にグループの追加操作を行っても、構成したグループがリストに表示されません。このことは、Active Directory、または Open LDAP ディレクトリにも当てはまりません。

推奨処置：

Microsoft Edge を使用します。

HPE OneView の Web サーバー証明書をアップデートできない

問題：

HPE OneView へのアップデートが、以下の場合に成功しないことがあります。

- ・ アプライアンスの Web サーバー証明書の有効期限が切れている。
- ・ アプライアンスの Web サーバー証明書が 24 時間以内に期限切れになる。

次のエラーメッセージが表示されます。

[エラー]アプライアンスの web サーバー証明書の有効期限が切れているか、古い証明書に戻されています。アップグレードを続行できません。新しいアプライアンスの自己署名証明書を再生成するか、新しい CA 署名アプライアンス証明書を再インポートしてください。その後、アップデートを再度実行してください。

推奨処置：

1. アプライアンスの証明書が有効であることを確認します。以下の項目は、無効な証明書を示しています。
 - ・ 証明書の有効期限が切れている場合、または証明書が 24 時間以内に期限切れになる場合。
 - ・ 証明書が SHA-1 証明書の場合。
 - ・ 証明書で以前その証明書に対して構成された組織情報が失われている場合。アプライアンス証明書が期限切れになり、アップデートされた証明書をインストールする前にアプライアンスを再起動すると、一部の情報が失われる可能性があります。
 - ・ 以前は CA 署名証明書をインストールしていたものの、現在のアプライアンス証明書がインストール済みの証明書ではない場合。アプライアンス証明書が期限切れになり、アップデートされた証明書をインストールする前にアプライアンスを再起動すると、正しくない証明書が表示されることがあります。

このような場合は、アプライアンスの自己署名証明書を再生成するか、新しい CA 署名証明書をインポートしてください。

2. その後、アップデートを再度実行してください。

スキャンツールによって脆弱な SSH 暗号の問題が報告される

問題：

Nessus などのセキュリティ脆弱性スキャンツールによって、HPE OneView の SSH サーバーが、攻撃者による暗号文からプレーンテキストメッセージへの復元が可能になる暗号ブロック連鎖 (CBC) 暗号化をサポートしていると報告されます。

推奨処置：

現時点では、対処は不要です。

ESXi FCoE Boot from SAN

問題：

ESXi 6.0 レガシードライバーを使用して Boot from SAN を実行するときに、ブート対象のサーバーを介した VLAN が削除、リストア、または交換された場合、ESXi サーバーにより SAN へのアクセスが削除されます。

推奨処置：

ESXi サーバーの電源をオンにしてブートするときにアップリンクセットに VLAN をリストアして、SAN へのアクセスをリストアしてください。

iLO 5 サーバーでの HPE OneView SNMP 構成に関する問題

問題：

iLO 5 が管理対象サーバーでリセットされたときに、HPE OneView の管理対象サーバーハードウェアが即時に更新された場合、SNMP の構成に一貫性がなく、iLO 5 からの SNMP トラップが HPE OneView で受信されません。

推奨処置：

iLO が応答を開始した後に約 1 分待ってから、HPE OneView でサーバーを再度更新してください。これにより、iLO の SNMP 設定がリストアされ、HPE OneView がサーバーの監視と管理を継続できるようになります。

ネットワークアダプターポートインベントリのスロット値が不明である

問題：

HPE ProLiant Gen10 ラックサーバーを備えた一部のネットワークアダプターの**サーバーハードウェア > ポートビュー**と API portMap の場所に、ネットワークアダプターポートインベントリの不明なスロット値がある場合があります。値が見つからないのは、アダプターから HPE OneView に提供されていないデータが原因です。これはインベントリのみであるため、HPE OneView 機能への影響はありません。

推奨処置：

対応する必要はありません。

LE のファームウェアアップデート中に HPE OneView に警告が表示される

問題：

HPE OneView の論理エンクロージャー (LE) のファームウェアアップデートで、ネットワークの問題によりファイル無効の警告が返される場合があります。

推奨処置：

1. 論理エンクロージャーのファームウェアアップデートの進捗を確認します。
2. アップデートが完了している場合は、この警告を無視してください。

サーバープロファイルから HPE Superdome Flex サーバーに BIOS 設定を適用する際に PXE サーバーアドレスが欠落している場合、URL からの起動オプションが無視される

問題：

プリブートネットワーク IPv4 構成を取得するために DHCPv4 設定が有効になっており、IPv4 PXE サーバーアドレスが設定されていないかデフォルトに設定されている場合、ファームウェアバージョン 3.0.512 または 3.0.542 を使用して BIOS 設定を HPE Superdome Flex サーバーに適用すると、HPE OneView は URL1 からの起動および URL2 からの起動の各機能は無視します。

推奨処置：

プリブートネットワーク IPv4 構成を取得するために DHCPv4 が有効になっている場合は、IPv4 PXE サーバーアドレスを設定します。

HCP の制限事項

問題：

ハイパーバイザークラスタープロファイル (HCP) の DHCP IP 割り当て用の特殊用途のネットワークとともに IP プールのネットワークを選択して構成した場合、DHCP 設定は無視され、IP プールによって、選択したネットワークに IP が割り当てられます。

推奨処置：

現時点では、対応は不要です。



注記

Google アナリティクスの使用

HPE OneView 4.2 から、Google アナリティクスとの統合機能が導入されました。匿名ユーザーインターフェイスの使用状況データは、ユーザーのブラウザから Google アナリティクスに送信されます。これにより、HPE は製品の使用方法と改善方法を把握できます。Hewlett Packard Enterprise は、個人情報を収集しません。

HPE OneView エンドユーザ使用許諾契約書 (EULA) に同意するときに、HPE OneView の Google アナリティクスの使用を選択します。

EULA には、Hewlett Packard Enterprise のプライバシーポリシー <https://www.hpe.com/us/en/legal/privacy.html> およびデータ収集へのリンク (<https://www.hpe.com/us/en/legal/privacy.html#datacollection>) が含まれています。このリンクでは、Google アナリティクスのトラッキングの選択を解除する方法も説明しています。

HPE OneView 管理者は、**設定 > セキュリティ > アクションメニュー > 製品の改善メニュー**を使用して Google アナリティクスのトラッキングの選択を解除することもできます。

追加情報：

- ・ 収集される情報は、標準の Google アナリティクスのデータに、使用されている HPE OneView のバージョンのみが追加されたものです。
- ・ HPE OneView Global Dashboard は、リリース 1.5 からの Google アナリティクスも統合しています。

サポートされる iSCSI ブート構成

次のパラメーターがサポートされています。

- ・ IPv4
- ・ 静的 IP アドレスと DHCP 割当て済み IP アドレス
- ・ HW-iSCSI (iSCSI オフロード、ハードウェア支援によるイニシエーター)

iLO 4 デバイスの管理

iLO 4 を使用するデバイスを管理する場合、HPE OneView 4.0 以降は、iLO 4 ファームウェアバージョン 2.55 以降で最適に動作します。お客様のデバイスに iLO 4 ファームウェアバージョン 2.3x をお持ちの場合は、Hewlett Packard Enterprise は、お持ちの iLO 4 ファームウェアをバージョン 2.55 以降にアップデートしてから HPE OneView 3.0 以降を用いたデバイス管理を開始されることを強くお勧めします。

アダプターポートの設定

レガシー BIOS モードでサーバーブレードを使用した SAN (FC または iSCSI) から起動するサーバープロファイル接続を新規作成する場合は、アダプターのポート 1 または両方のポート (ポート 1、ポート 2) が設定されている必要があります。ポート 2 のみ設定を行った場合、誤ったデバイス (通常はローカルディスク) からサーバーが起動される原因となる場合があります。この動作は、Emulex アダプターモデル 554M、650M、554FLB、556FLB、および 650FLB に影響を与えます。

システムボードの交換

サーバーがメンテナンスのために取り外された際、ネットワークセキュリティの検証が行われていない場合は、HPE OneView (VC のように) の電源はオンになりません。新しいブレードが取り付けられている場合、HPE OneView はブレード/OA をチェックし、同じサーバー (UUID を使用) および構成が使用されているかを確認します。元のサーバーと新しくインストールしたサーバーの UUID が一致する場合は、サーバーの電源が自動的にオンになります。ただし、元のサーバーと新しくインストールしたサーバーの UUID が一致しない場合は、サーバープロファイルに新しいサーバーが認識されないことを示すエラーが

表示されます。同じハードウェアタイプのサーバーがインストールされているが、HPE OneView によって認識されていない場合、再適用後にサーバーを再インストールします。新しいサーバーが、元のサーバーと一致しない場合は、サーバープロファイルを削除して正しく一致するサーバーをインストールします。

システムボードを交換する場合は、サーバーの再起動とサーバープロファイルを解除するために、UEFI システムユーティリティを介して UUID を手動で再プログラムする必要があります。サーバーの再起動後、新しいサーバーを受け入れるように UUID を再プログラムすることができます。新しいサーバーで POST サイクルが完了すると、サーバープロファイルは新しく取り付けられたサーバーに再び割り当てられます。

iLO 暗号化モードを高セキュリティに変更するには、iLO 認証情報を使用して iSUT を設定する必要があります

iLO 暗号化モードを実稼働から FIPS または CNSA に変更したときは、iSUT 2.4.0.0 以降がインストールされ、iLO 認証情報を使用して構成されていることを確認してください。この手順は、HPE OneView でプロファイルを適用してファームウェアをアップデートするための前提条件です。HPE OneView を使用してファームウェアをアップデートする前に、iSUT の以前のすべてのインストール環境を iLO 認証情報を使用して構成する必要があります。

HPE OneView のドキュメントおよびトラブルシューティングの資料

Hewlett Packard Enterprise Information Library は、タスクベースのレポジトリです。インストール手順、ユーザーガイド、メンテナンスとサービスガイド、ベストプラクティス、およびその他のリソースへのリンクが含まれています。この Web サイトを使用して、次のような最新のドキュメントを入手してください。

- ・ HPE OneView のテクノロジーについて
- ・ HPE OneView アプライアンスのインストールとケーブル接続
- ・ HPE OneView コンポーネントのアップデート
- ・ HPE OneView の使用と管理
- ・ HPE OneView のトラブルシューティング

HPE OneView ユーザーガイド

HPE OneView ユーザーガイドは、**Hewlett Packard Enterprise Information Library** から入手できます。リソース機能、プランニングタスク、クイックスタートタスクの構成、グラフィカルユーザーインターフェイスのナビゲーションツール、および HPE OneView のサポートと参照情報が示されています。

HPE OneView サポートマトリックス

HPE OneView サポートマトリックスは、**Hewlett Packard Enterprise Information Library** から入手できます。HPE OneView のソフトウェアおよびファームウェアの最新の要件、サポートされるハードウェア、および構成の上限を維持します。

HPE OneView のトラブルシューティングガイド

HPE OneView トラブルシューティングガイドは、**Hewlett Packard Enterprise Information Library** から入手できます。HPE OneView ハードウェアおよびソフトウェアコンポーネントの両方に対し、一般的な問題の解決のための情報、障害の分離と識別のための手順、問題の解決、および保守を提供します。

HPE OneView ヘルプと HPE OneView API リファレンス

HPE OneView ヘルプおよび HPE OneView API リファレンスは、HPE OneView のユーザーインターフェイスで利用できる、アクセスしやすい組み込み型のオンラインヘルプです。これらのヘルプファイルには、HPE OneView 内の一般的な問題、および問題のトラブルシューティング手順と例への「詳細情報」リンクが含まれています。

ヘルプファイルは、**Hewlett Packard Enterprise Information Library** から入手可能です。



Web サイト

全般的な Web サイト

Hewlett Packard Enterprise Information Library

<https://www.hpe.com/info/enterprise/docs>

Hewlett Packard Enterprise Worldwide

<https://www.hpe.com/assistance>

サブスクリプションサービス/サポートのアラート

<https://www.hpe.com/support/e-updates-ja>

上記以外の Web サイトについては、[サポートと他のリソース](#)を参照してください。

製品の Web サイト

HPE OneView のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/oneview/docs>

HPE 3PAR StoreServ ストレージ

<https://www.hpe.com/info/storage>

HPE BladeSystem エンクロージャー

<https://www.hpe.com/info/blades-ja>

HPE Integrated Lights-Out (iLO)

<https://www.hpe.com/jp/servers/ilo>

HPE Integrity Superdome X

<https://www.hpe.com/info/superdome>

HPE ProLiant サーバーハードウェア

- ・ 一般情報 : <https://www.hpe.com/info/servers-ja>
- ・ BL シリーズサーバーブレード : <https://www.hpe.com/info/blades-ja>
- ・ DL シリーズラックマウント型サーバー : <https://www.hpe.com/jp/ja/servers/proliant-dl-servers.html>

HPE Superdome Flex サーバー

<https://www.hpe.com/info/superdome>

Insight Remote のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs>

HPE Primera のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/Primera600-docs>

HPE Insight Control のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/insightcontrol/docs>

HPE OneView Global Dashboard のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/ovgd-docs>



Smart Update (SUM/SPP/iSUT/iSUT) のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/sut-docs>

Single Point of Connectivity Knowledge (SPOCK) の Storage compatibility matrix

<https://www.hpe.com/storage/spock>

ストレージのホワイトペーパーおよび分析レポート

<https://www.hpe.com/storage/whitepapers>



HPE OneView Remote Technician

HPE OneView Remote Technician を使用すると、問題のトラブルシューティングおよび解決のサポートが迅速かつ容易になります。招待により、認証された Hewlett Packard Enterprise サポート技術者が、問題のトラブルシューティングと診断に安全な TLS 接続を通じて HPE OneView アプライアンスにアクセスします。FTP サイトを必要としないログの直接ダウンロードなど、信頼されたサポート技術者が問題を診断する際に現場にいる必要がありません。

HPE OneView Remote Technician は、追加のアプリケーションなしで HPE OneView 4.1 以降に組み込まれています。

詳細情報

[HPE OneView ヘルプ](#)の「[HPE OneView アプライアンスへのリモートアクセスサービスの構成](#)」。



サポートと他のリソース

Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス

- ・ ライブアシスタンスについては、Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide の Web サイトにアクセスします。

<https://www.hpe.com/info/assistance>

- ・ ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトにアクセスします。

<https://www.hpe.com/support/hpesc>

ご用意いただく情報

- ・ テクニカルサポートの登録番号（該当する場合）
- ・ 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- ・ オペレーティングシステム名およびバージョン
- ・ ファームウェアバージョン
- ・ エラーメッセージ
- ・ 製品固有のレポートおよびログ
- ・ アドオン製品またはコンポーネント
- ・ 他社製品またはコンポーネント

アップデートへのアクセス

- ・ 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムが提供されます。ご使用の製品のドキュメントで、ソフトウェアの推奨されるソフトウェアアップデート方法を確認してください。
- ・ 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかにアクセスします。

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター

<https://www.hpe.com/support/hpesc>

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター：ソフトウェアのダウンロード

<https://www.hpe.com/support/downloads>

My HPE Software Center

<https://www.hpe.com/software/hpesoftwarecenter>

- ・ eNewsletters およびアラートをサブスクライブするには、以下にアクセスします。

<https://www.hpe.com/support/e-updates-ja>

- ・ お客様の資格を表示、アップデート、または契約や保証をお客様のプロファイルにリンクするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **More Information on Access to Support Materials** ページに移動します。



- ❗ **重要:** 一部のアップデートにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからアクセスするときに製品資格が必要になる場合があります。関連する資格を使って HPE パスポートをセットアップしておく必要があります。

リモートサポート（HPE 通報サービス）

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントを Hewlett Packard Enterprise に安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くおすすめします。

ご使用の製品にリモートサポートの追加詳細情報が含まれる場合は、検索を使用してその情報を見つけてください。

リモートサポートおよびプロアクティブケア情報

HPE 通報サービス

<http://www.hpe.com/jp/hpalert>

HPE プロアクティブケアサービス

<http://www.hpe.com/services/proactivecare-ja>

HPE データセンターケアサービス

<http://www.hpe.com/services/datacentercare>

HPE プロアクティブケアサービス：サポートされている製品のリスト

<http://www.hpe.com/services/proactivecaresupportedproducts>

HPE プロアクティブケアアドバンストサービス：サポートされている製品のリスト

<https://www.hpe.com/jp/ja/services/proactive-care-central.html>

保証情報

ご使用の製品の保証情報を確認するには、以下のリンクを参照してください。

HPE ProLiant と IA-32 サーバーおよびオプション

<https://www.hpe.com/support/ProLiantServers-Warranties>

HPE Enterprise および Cloudline サーバー

<https://www.hpe.com/support/EnterpriseServers-Warranties>

HPE ストレージ製品

<https://www.hpe.com/support/Storage-Warranties>

HPE ネットワーク製品

<https://www.hpe.com/support/Networking-Warranties>

規定に関する情報

安全、環境、および規定に関する情報については、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照してください。

<https://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

規定に関する追加情報

Hewlett Packard Enterprise は、REACH（欧州議会と欧州理事会の規則 EC No 1907/2006）のような法的な要求事項に準拠する必要に応じて、弊社製品の含有化学物質に関する情報をお客様に提供することに全力で取り組んでいます。この製品の含有化学物質情報レポートは、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/reach>

RoHS、REACH を含む Hewlett Packard Enterprise 製品の環境と安全に関する情報と準拠のデータについては、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/ecodata>

社内プログラム、製品のリサイクル、エネルギー効率などの Hewlett Packard Enterprise の環境に関する情報については、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/environment>

ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当 (docsfeedback@hpe.com) へお寄せください。このメールには、ドキュメントのタイトル、部品番号、版数、およびドキュメントの表紙に記載されている刊行日をご記載ください。オンラインヘルプの内容に関するフィードバックの場合は、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、およびご利用規約ページに記載されている刊行日もお知らせください。

